	区分		ご意見			ご意	見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	±-0	修正		計画書該当箇所(修正後計	画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
1	パブコメ	_	本市はエコアクション21認証登録を2009年から 12年間行い、環境マネジメントシステムを全職 員が運用した。これは自治体では数少ない誇れる実績である。このことが触れられていないの は残念。もっとアピールし、市民をリードして頂きたい。 (本市では、市民・事業者・市が協力して環境に配慮したまちづくりを行っていくため、平成 12年3月に環境保全計画を策定した。更に次のステップの率先行動計画(温暖化対策)を平成 13年4月に策定した。その延長線上でエコアクション21の認証を取得した。)	無				本行う手でで環外という。 そのを年ンの達ま自り 画て実境考れて、は事務に関する成のを明めた日前でで環外という。 は、いとなったのでは、いとなったのでは、とれば、というでは、ののとは、とれば、というでは、とれば、とれば、というでは、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば	
2	パブコメ		C02の排出について日本の対応が悪いとも、これたが馬鹿馬鹿しい茶番は変更されたが馬鹿無ければ生物はいていることをも、といいはは、といいはないにいいは、といいは、といいは、といいは、といいは、といいは、といいは、といいは	無				貴重なご意見として参考にさせて いただきたいと思います。	

	区分		ご意見			ご意	見への対応		
No		計画書該当箇所(修正前計画)	意見	修正		計画書該当箇所(修正後記	十画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	息 兄	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
3	パブコメ		国の考え方が本計画のベースとなると考えるが、記載の環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、循環型社会形成推進基本法、生物多様性基本法、気候変動適応法、第五次環境基本計画について資料編等に要点、考え方等を入れると国の考え方と本市の考え方とマッチングでき全体像が理解し易いと考える。		2		_	ご意見のとおり各種法律や計画を 資料編で紹介することは理解の一 助となると思われますが、紙面に 限りがあることから割愛させてい ただきました。	
4		図 産業大分類別就業人口比につ いて	第1次産業として農業に従事している世帯等もあり、その比率が 2~3%であっても記載して頂きたい、その理由は、次頁に農業出荷高の記載されており、千葉県は地産地消の考え方がキーワードになっていると考える。第2次及び第3次に分類できない産業を一律に分類不能にするのではなく、内閣府や経済産業省の考え方として、第4次産業、第5次産業の定義もあり、第4次及び第5次産業に従事している比率にした方が現実にリンクすると考える。	有	4	図 産業大分類別就業人口比 ・第1次産業及び分類不能について数値 を追加 ・出典を記載	_	ご意見を受けて第1次産業の比率 及び分類不能の比率の数値を追加 いたしました。また、出典データ の記載が漏れていた為追加いたし ました。 分類不能の産業につきましては、 出典元のデータにおいても「分類 不能の産業」となっていることか ら、そのままとしております。	
5	パブコメ	基本施策3-1	環境指標の表に記載されている「公害苦情件 数」の現在値の109件を種類別等に分類すると 内容等が理解できて良いと考える。又、苦情件 数として解決済みの比率も入れると良いと考え る。		46			公害苦情の種類につきましては、 16頁に内容別の件数を記載しておりますのでそちらでご確認いただけます。解決済み件数につきましては、解決済みの定義を定めることが難しいことから、把握しておりません。	
6	パブコメ	(1) 温室効果ガス排出傾向	八千代市と全国におけるエネルギー〜〜を全国 ベースとして比較(低いか高いか平均並みか)し た内容も入れると本市の状況がつかめて良いと 考える。	無	69	_	_	「八千代市と全国におけるエネルギー起源温室効果ガス排出量の部門別排出量」のグラフにおいて全国と本市の比較ができるようになっており、本市の状況をつかむ一助となっているものと考えます。	

	区分		ご意見			ご意	気見への対応 カラス		
Vo.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	意見	修正		計画書該当箇所(修正後記	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	忌尤	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
7		│ 八千代市の年平均気温の5年間移 ●平均のグラフ	八千代市の年平均気温の 5 年間移動平均として隣の佐倉市と比較した結果として八千代市が佐倉市よりも約 0.3 度高いと推定しますがその理由等も解析をして頂けると更に良いと考える。	無	80	_	_	本市内には気象庁の公式観測所が 無いため、市が観測したデータを 用いており、参考として気象庁の 公式観測所である佐倉観測所の データを記載しております。この ように別機関による観測データで あることから比較対象とするには 適さないと考えます。	
8	パブコメ	(2) 広域的かわも大畑	記載されている加盟している会議、協議会について加盟している市町村数が記載有りと無しが 混在しており、統一する意味を含めて市町村数 も記載をして頂きたい。	有		4) 印旛沼流域水循環健全化会議 印旛沼の(中略)されています。 印旛沼に関係する住民・市民団体、専門 家、関係機関、行政 <u>(国・千葉県・13市</u> 町)により構成され、	_	市町村数を明らかにする記載がなかったのは4) 印旛沼流域水循環健全化会議だけだったことから同会議の構成の記述を修正いたしました。	
9	パブコメ		まず全体を見ての感想はこの緩いやり方では到底目標は達成できないということ。 その他、サービス部門や家庭部門の大幅な削減 目標とうたう割にはその本気度が見られない。	無	_	_	_	目標達成に向け、各種施策の推進に努めて参りたいと考えます。	
10	パブコメ	環境指標 住宅用省エネルギー設備等導入に 対する補助金交付件数	住宅用省エネルギー設備等導入に対する補助金交付件数だが、このペースでは全然目標分だけ家庭に普及しない。この数をこなしても微々たるもの。見通しがあまいと思う。太陽光やエコハウスを主に普及という割にはかなり弱めな補助金交付件数かと思った。最低でもこの50倍~100倍は必要だと思う。本気で太陽光やエコハウスに絞って増やすというのならだが。	無	36		_	引き続き住宅用省エネルギー設備 等導入に対する補助金交付は行っ てまいりますが、その他の施策の 推進も合わせて目標達成に努めて 参りたいと考えます。	
11	パブコメ	_	毎回環境のパブコメで多岐にわたり色々な目標などを掲げるが、手広くやりすぎてはたしてどのくらい実効性があるのか疑問。太陽光にしぼりたいのならもう少し他は控えめに書くべきでは。あれもこれも理想や目標を掲げることは大切だが、全てやろうとしたり欲張りすぎたりするともはや環境保全課環境政策室や市民ボランティアだけの話では到底まわらない絵にかいた餅状態になるのではないか。もう少しまとを絞るべき。	無	_	_	_	脱炭素社会の実現のためには、 様々な施策を同時に推進していく 必要があります。 ご指摘の通り市の担当課でできる ことには限りがあることから、 様々な関係者と連携し、脱炭素を 推進して参りたいと考えます。	
12	パブコメ	_	ソーラーカーポートの普及もいいが、何年でペイするのかなどの計算は度外視か。カーポートの場合柱に車がぷっかり損傷した場合、その修理費やその期間の発電などがとまる可能性があり採算度外視に近い考えでやる覚悟は必要。台所を新調して元を取ろうとする人はいない。それと同じ考えで再生可能エネルギーが増えるならインフラの一つとして元をとる計算はしないという考えの元やるべき。	無	_	_	_	脱炭素を推進していくにあたっては、PPA等初期投資不要の事業もあることから、様々な事業手段を考慮して進めたいと考えます。	

	区分		ご意見	L			見への対応		
	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)		修正		計画書該当箇所(修正後記	十画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
13	パブコメ		カーボンオフセット計算はどのようになってい るのか。	無	_		_	カーボン・オフセットとは、日常 生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出にが減るよう削減るる温を効果がままができるを対しても排出量が近れると見かって、排出出音を効果がスの削減活動されるといるとがより、からいと考えを埋めたいと考えます。	
14	パブコメ		中のゲッパーでは生のでは、 中のゲッパーでは生の温室を いるの2の25倍もの温室を いる。の研究には生変効果があると言われていた。 ではいる。 大学のできるとできるという。 また生できるカップラーでは大きなのののでは、 をはるが、からののののできるが、 をいるののできるが、 をいるののできるが、 をいるののできるが、 をいるののできるが、 をいるののののののできるが、 をいるのののできるが、 をいるののできるが、 をいるののできるが、 できるののできるが、 できるが、 のののでできるが、 のののでできるが、 のののででできるが、 のののででできるが、 のののでででする。 できるといい、 ののののでででできるが、 のののでででできるが、 のののででででででででででででででででででででででででででででいますが、 のののででででいる。 がいたが、 のののででででいるのでででででででいるのででででいる。 のののででできないい、 のののででできないが、 のののででできないが、 のののででできないが、 のののでできないできない。 ないい、 のののでででできないが、 のののででできない。 のののでできない。 といい、 のののでででできるが、 のののででででいた。 のののででできない。 のののでできない。 といい、 のののででできないが、 のののででできない。 のののでできない。 のののできない。 といい、 のののででできないが、 のののでできない。 のののでできない。 といい、 ののでできない。 のののでできない。 ののでできない。 ののできない。 のったでできない。 のったでできない。 のったでできない。 のったでできない。 のったでできないできないでできないできないでできないできないでできないできないでできないできない	無				メタンはIPCCの第5次評価報告書によると、その地球温暖化への第5時間では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個	
15	パブコメ		再生の活動を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	無	59			オフグリッドの有用性について認識はしておりますが、貴重なご意見として参考とさせていただきます。	

	园 八		ご意見						
No.		計画書該当箇所(修正前計画)	# B	修正		計画書該当箇所(修正後	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
16	パブコメ	1. 第2章 3八千代市の環境の現況と課題 (4)自然環境に関する現状と課題 【第2次環境保全計画における環境指標の目標達成状況】	1. 第2章 3八千代市の環境の現況と課題 (4)自然環境に関する現状と課題 【第2次環境保全計画における環境指標の目標達成状況】について 谷津・里山保全個所数について基準値の2009年度に八千代自然と環境を考える会や八千代自然と環境を考える会や八千代奇が域、光本域部地など後保全活し、市の保全計画でに大統領、環境保全計画策を通じて後援をといたが、環境保全計画策定時に意見をといたが、第2次環境保全計画策定時に意見をといるでにないたり、市保全計画策定時に意見をといたが、第2次環境保全計画での担当者がされていたのはままでが、、昔から保全活動のと活動のは残念。何らかの補充、訂正をして欲しい。	無	19			この指標で指している谷津・里山保全箇所数とは主に里山楽校のままないる場所を数えたものとなっております。2009年度時点ではまだ里山楽校は開催っていまがら0とならのとならのとならのとならがます。里山団体のみなら団をがいます。 市内で活動されている環境団画を指しておりたいと考えます。	
17	パブコメ	2. 第4章4-1谷津・里山等の保全 環境指標	2. 第4章4-1谷津・里山等の保全・環境指標 19頁【第2次環境保全計画における環境指標の 目標達成状況】において環境指標 環境保全林 の面積が大幅に減少しているにも関わらず、 2019年度が空白で現状維持にOKが出ているる なぜか。50頁の環境指標「環境保全林面積」の 2022年度の現況値は1.8haとなっており、減少傾向が著しいのは明らかではないか。環境保全 林についるくの荒廃林の復活などに役立た林が思 整区域の多くの荒廃林の復活な整備された人の とができないか。調整区域に整備されたしの きることは市街地の住民にとって環境保全 制出など大きなメリットがある。環境保全 ついてこの機会に大幅な見なおしを行って 欲しい。	無	50			現在環境保全林については、新規の指定を行っておらず、解除希望があることから、現状を維持するとを目標としております。 貴重の件に関しましてもます。 きます。	
18	パブコメ		基本施策4-4 自然とふれあう機会の創出 自然と触れ合う機会の創出の指標としてホタル の里活用回数が掲げられているが、ホタルの里 に限定せず、民間の団体による自然とのふれあ い機会の創出についても後援その他の支援を行 うことができる。環境目標としても後援回数や 参加者の人数などを付け加えてはどうか	無	53	_	_	自然と触れ合う機会以外の環境学習も含んでおりますが、基本施策5-1環境教育・環境学習等の推進で環境学習講座等開催数 を指標として設けており、引き続き自然とふれあう機会の創出に努めて参りたいと思います。	
19	パブコメ	_	ゼロカーボンシティ宣言を受けて、気候危機に立ち向かうための地球温暖化対策の対象が市域全域に広がり、2050年カーボンニュートラル向けた明確な目標を定めると共に、脱炭素型社会の実現に向けて全ての主体が取り組むことが明記されていることは大きな意義がある。さらに、この計画が具体的な施策として着実に実行され、市民や事業者の積極的な取り組みにつながり、その効果が市民や事業者にとって実感できる仕組みが必要である。		_	_		貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	Ę

	区分		ご意見	ご意見への対応					
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	意見	修正		計画書該当箇所(修正後記	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	思兄 	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
20	パブコメ	_	この改訂版では、2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度40%削減へとと目標を引き上げ、更なる高みを目指すとしているが、日本全体の46%削減よりも低い目標は自治体の地球温暖化対策としてまったく不十分である。特に産業部門の削減率が19%に抑えられており、排出量の全体の半分程度を占めて大きい産業部門の削減率を40%以上に高めることが必要である。特に大規模な事業者は業界ごとの国の削減目標への対応を進めると共に、カーボンニュートラル向けた取組が進められており、それらの企業と連携をすると共に、中小企業への排出削減の支援策を千葉県などとも共同して進める必要がある。	無	_	_	_	今回の見直しにおいて、2030年度における市域からの温室効果ガスの排出削減目標を、2013年度スの排出削減目標を、2013年度高いまり。 22%削減から40%削減し更なるを目指摘のとおり部門別の削減と間で産業部門の目標値が19%と他ので産業が、上記目標からますが、上記目標からまます。	
21	パブコメ	_	家庭部門および業務部門については、70%を超える高い削減率が求められるが、この削減率の実現に向けた追加対策を着実に実施する必要がある。「市民や事業者・行政などによる脱炭素に向けた行動変容の促進」とあるが、再生可能エネルギー導入の促進区域の策定、再エネ・省エネの補助制度などの支援策(国や県とも連携)の強化、再エネ・省エネ設備導入の説明義務や導入裁談や住宅・建築物への太陽光発電の導入促進などを、新たな体制で、官民共同の事業として推し進める必要がある。	無	_	_	_	計画の推進にあたってご意見を参考とさせていただきたいと考えます。	
22	パブコメ		再生可能エネルギーによるCO2削減効果が、非常に少ないが各部門での再生可能エネルギーの導入施策を明確にし、各部門での再生可能エネルギー導入の効果を明確にした上で、より高い再生可能エネルギー導入の目標を積み上げるべきである。	4111			_	区域の再生可能エネルギーの導入 容量の目標値つきましては、基本 施策1-2再生可能エネルギー等の 導入推進において環境指標に記載 しております。ご指摘の部門別で の目標の積み上げではありません が、こちらの導入目標の達成に努 めて参りたいと考えます。	
23	パブコメ	第4章 基本方針1 (1) 主要課題	第4章 基本方針1 (1)主要課題 気候危機に立ち向かうことに明確に言及し、市民や事業者と共に地球温暖化対策に積極的に取り組むこを記載すべきである。市民の実現のに、日常の活動に必要な「エネルギー対策の重要性と、、再生可能ないて省エネルギー対策の重要性と、ことを含めた、中長期的な都もりの計画を策定し、着実に進める必要がある。		31	_		主要課題において、気候危機に言及している他、ゼロカーボンシティ宣言をしたこと、省エネルギー対策が不可欠であること、再エネ導入拡大についてふれております。ご意見の趣旨を踏まえま計画を進めて参りたいと考えます。	
24	パブコメ		目標には、ゼロカーボンシティ宣言の主旨を取り入れ、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す持続可能な脱炭素型社会を実現することを明確に記載すべきである(「目指す」では目標にはならない)。	無	31	_		貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	

	区分		ご意見			ー こ こ	5見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	±-1	修正		計画書該当箇所(修正後記	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
25	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくり の推進	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくりの推進 脱炭素型まちづくりの推進 脱炭素型まちづくりの性が、あいう の大力向性が、あいり た明確なまながある。「経 とずずでは、 は は は は は は は は は は は い に は は ら ら ら に は ら ら ら ら に は ら ら ら ら ら に は ら ら ら ら	無	32		_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
26	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくり の推進	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくりの推進 都市マスタープランにもとづく土地利用や交通 計画については、脱炭素化の視点で適切に見直 していく必要がある。公共交通の利便性を大幅 に向上し、安心して健康に「徒歩」で暮らせる まちづくりを行い、再生可能エネルギーと電気 自動車の普及により交通部門の二酸化炭素排出 量をゼロにすることを目指すための計画を策定 する必要がある。	無	32	_		計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
27	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくり の推進	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくりの推進 脱炭素型の建築物の普及促進については、既存 の建築物の省エネルギー化を進めるために、高 断熱化と設備のエネルギー効率化を促進するた めの診断を進めると共に、必要な経済的な支援 制度を進める。公共設備については、防災機能 も高めつつ数値目標を定めて省エネルギー化と 再生可能エネルギーの導入を率先して進める。	無	32 33		_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
28	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくり の推進	第4章 基本方針1 基本施策1-1脱炭素型まちづくりの推進 「環境指標」については、市域の温室効果ガス 排出量だけではなく、家庭、業務、産業の各部 門について定める。一人当たりや事業所の排出 量については見える化をして、常に具体的な取 組みにつながるようにする必要がある。		33	_	_	ご指摘の通り第4章には部門別の 削減目標が出ておりませんが、第 7章地球温暖化対策実行計画の中 で部門別の目標を記載しておりま す。	

	区分		ご意見				意見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	意見	修正		計画書該当箇所(修正後	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述		有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
29	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進 環境指標	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進環境指標「区域の再生可能エネルギーの導入容量」の2030年度の目標値が初めて55.2MWと定められことは意義があるが、その導入目標値は不十分ある。世界全体では、2023年12月にドバイで開催されたCOP28において、2030年までに再エネの発電設備容量を現状の3倍にすることが合意された。八千代市においても、現状の30MWの3倍である90MWの導入量を少なくとも目標とすべきである。	無	34		_	区域の再生可能エネルギーの導入 容量の目標値は国の目標値を参考 に定めております。本目標の達成 以上の成果を出せるように努めて 参りたいと考えます。	
Ö	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進 環境指標	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進環境指標 産業部門、家庭部門、業務部門、それぞれの部門での太陽光発電の導入目標を定め、特に産来 部門については、省エネと共に再生可能エネルギー(太陽光など)の導入目標を大幅に高く定める必要がある。自治体(八千代市)と共に、企業自らの導入目標を示すと共に、調達する電気については再生可能エネルギー100%の達成時期を各企業が明確にすることが求められる。		34	_		貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	
:1	\(\) \(\)	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進 環境指標	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 「環境指標」としては、温暖化対策における二 酸化炭素排出量の削減と連動した数値目標を、 部門ごとに設定すべきである。発電電力量しよ なく、電力の需要量に対する割合を目標とし、 再生可能エネルギー熱や燃料についても、目標 値を定めるべきである。さらに、太陽光発電や 太陽熱、バイオマスについての導入目標(設備 容量など)を定めることが必要である。		34	_	_	貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	
332	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 基本的な方向性として、八千代市内で可能な太 陽光発電、太陽熱利用およびバイオマス利用を 推進すると共に、市民や事業者が購入や調達す るエネルギー(電気、ガス、燃料)について地域 のエネルギー事業者(地域新電力、ガス会社な ど)と協働して再生可能エネルギーの割合を高 める施策が必要である。	無	33 34		_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
33	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 太陽光発電については、具体的に、住宅用や事 業所の屋根に関する調査・診断を行い、市民や 事業者と協働して明確なロードマップを定め て、導入を推進する必要がある。あわせて太陽 熱や地中熱などの再生可能エネルギー熱利用に ついてもロードマップを定め、ガス会社や住宅 関連事業者と協働して導入を促進する必要があ る。	無	33 34	_	_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	

参考資料2

	区分					ご 着	意見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	* B	修正		計画書該当箇所(修正後記	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	—————————————————————————————————————	意見		頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
34	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 再生可能エネルギーや未利用エネルギーを有効 に利用するためのエネルギーのインフラとして デジタル技術も取り入れた自立分散型のエネル ギーシステムの整備を、モデル的に公共施設を 中心に進め、さらに住宅や事業所、産業部門で 利用可能にする必要がある。	無	33 34	_		計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
35	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 地域のバイオマスについては、廃棄物などの資 源循環として再生可能エネルギーとして積極的 に活用すべきである。特に一般廃棄物処理施設 においては、発電と共に熱利用も積極的に進 め、未利用エネルギーとしての排熱を面的に利 用するインフラを整備していく必要がある。	無	34			計画の推進にあたってご意見を参考とさせていただきたいと考えます。	
36	パブコメ	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー 等の導入推進	第4章 基本方針1 基本施策1-2再生可能エネルギー等の導入推進 水素エネルギーについては、2050年に向けた脱 炭素化において将来的に必要となる可能性はあ るが、まずはヒートポンプや電気自動車などの 電化によるエネルギー効率化を優先すべきであ る。	無	34	_	_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
37	パブコメ	■温暖化対策・省エネルギー活動の	基本施策1-3市民・事業者の地球温暖化対策・省エネルギー活動の促進 脱炭素型社会の実現に向けて市民や事業者と協働で施策を進めることが重要である。単なる情報提供ではなく、市民や事業者との協議会や共同プロジェクトを立ち上げ、具体的な施策の進め方やプロジェクトの実施について協議をし、地域での人材の育成やノウハウの蓄積を図る必要がある。	無	35	_	_	計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
38	パブコメ	基本施策1-3市民・事業者の地球	基本施策1-3市民・事業者の地球温暖化対策・省エネルギー活動の促進排出の半分以上を占める産業部門の脱炭素化の取組みについては、企業の積極的な取り組みが進む施策が必要ある。必要な協議を行い、企業のCO2排出量の開示を求め、企業が主体となった協議会において、具体的な目標やロードで必要な設備の更新などに取り組む必要がある。そのための計画書制度や支援制度を県や国とも連携して進める。特にゼロカーボンシティン要である。特にゼロカーボンシティを関心自治体とは強力な連携が必要である。	****	35	_		計画の推進にあたってご意見を参考とさせていただきたいと考えます。	

	区分		ご意見			ご煮	意見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	- 辛日	修正		計画書該当箇所(修正後)	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
39	パブコメ		基本施策1-3市民・事業者の地球温暖化対策・省エネルギー活動の促進 「環境指標」としては、具体的な目標や計画を 定めた事業所や企業の数と共に、それらの事業 所のCO2排出量の総量の割合などを指標とすべ きである。また、さらに有効な取り組みを行っ ている市民団体、事業所やプロジェクトを登録 してネットワーク化し、優良事例としてカウントしたり、CO2排出削減量や再生可能エネル ギー導入量、投資金額などで指標化する。	l	36	_		貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	
40	パブコメ	プロジェクト	第5章 ゼロカーボンシティ推進プロジェ クト 脱炭素型社会の実現のため、具体的明確に マスタープラン 策定事業 で (1) 脱声 まちづくりので で まま者 ロボール で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	l	59			ご提案いただいた事業の一部につきましては基本方針の方に盛ります。第5章の施策の策定方法につきましても貴重なごきまして参考とさせていただきます。	

	区分		ご意見			ごえ	意見への対応		
	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)		修正		計画書該当箇所(修正後)	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
41	パブコメ		昨年7/27、国連のグテーレス事務総長が地球温暖して、気候変動の現状について世界にも、気候変動の現状についる。今年の7月たたがにから、「最も化のないのはなる。のでは、大地到なつを、大地到ないのはは、ない。は、大きには、大地では、大地では、大地では、大地では、大地では、大地では、大地では、大地で				_	貴重なご意見として参考とさせて いただきます。	
42	パブコメ		温室効果ガス削減目標(2030年) この世界の認識に対して、日本政府では「46%削減。さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」と目標設定をした。千葉県は昨年3月「40%削減。更なる高みを目指す」とした。そんな中でこの計画の中での本市の温室効果がス削減目標は結局千葉県と同様の「40%削減。更なる高みを目指す」となった。ゼロカーボンシティ宣言をしてから3年近く経ってのようやくの見直しだが、正直、世界の認識からしたら、これでも全く足りない目標である。ませめて日本政府と同様の目標設定とするべき。				<u> </u>	今後の計画の進捗等を踏まえ、更 なる高みに向けて取り組んで参り たいと考えます。	
43	パブコメ	_	徹底した省エネ施策と最大限の再生可能エネルギーの導入 八千代市が2030年まであと7年でこの目標でも達成するというのは並大抵のことではない。この削減目標達成に向けて、本気で地球温暖と対策を推進するなら計画には「徹底した省等と、必要である。その点から本改訂版は施策と、必要である。その点から本改訂版は施策も指標も不十分である。ゼロカーボンシティ「グリーンウォッシュ」とならないように今後の取組みの検討をお願いしたい。	無		_		計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	

	区分		ご意見			ご意	意見への対応		
No.	ご意見のあった	計画書該当箇所(修正前計画)	# B	修正		計画書該当箇所(修正後記	計画)	意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	意見	有無		該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
44	パブコメ	基本施策1-1 (3) 脱炭素型建築物の普及促進	計画改定版では省エネ施策として「ZEBやZEHの 普及拡大を進める」とあるが、これらの取組み に対する具体的な目標値の設定がない。千葉県 では2030年に「新築着工件数のZEB化、ZEH化割 合100%」とかなり意欲的な目標としている。 本市でも「省エネ施策」に対する目標設定をす るべき。見直し願う。		33	_	_	新築へのZEB化、ZEH化への働きかけは温室効果ガス排出量の大省車間減を実現するために必要な当まであると認識してつきまであると認識につきまである目標設定につきまであると考えており、今後、手法との調査研究してまいりたいと考えております。	
45	パブコメ	基本施策1-3 (3) 運輸部門における取組の促進	運輸部門における取組の一つとして「次世代自動車の普及促進、公用車への率先導入」が追加されたが、導入割合の具体的目標値が設定されていない。千葉県では「2030年までに公用車を全て電動車とする」「県域の電動車保有台数を100万台とする」とされた。本市でも「公用車の電動車化100%」や「市域での電動車保有台数」等の目標設定するべき。見直しを願う。	無	35	_	_	公用車の電動化につきまして自由性に 1 2030 までまました目標を導力的では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京	
46	パブコメ	推	最大限の再生可能エネルギーの導入が必要。 「再生可能エネルギー等の利用推進」とし来 「公共施設への再エネ導入」や「再エネルグ、 の調達」、「PPAやソーラーシェアリング の調達」、「PPAやソーラーシェアリング の関係的な施策が追加されたが、その目標設定が不十分。約2倍増の設定も、再エネ比でる。 見直し案の再生可能エネルギーの導入はでるの力を1を表がではないがある。 見直し案の異ガス40%削減」は達成であるのか。 少なくとも40%削減が達成可能な再エネポテンシなくとも40%削減が達成可能な再エネポテンシッともではないか。千葉県では14.4%テンシャルがある。国の比率ででも「9176Wh」と今の目標設定の16倍するのポテンシャルがある。国の比率でで能エネルギーの導入目標に見直して頂きたい。		33 34	_		今後の検討課題とさせていただき ます。	

		ご意見		ご意見への対応					
No		計画書該当箇所(修正前計画)				計画書該当箇所(修正後計画)		意見への対応	備考
	会議体等	該当記述	总 兄	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
47	パブコメ	_	最大限の再生可能エネルギーの導入という点で、本市で最も可能性があるのが太陽光発」を その点から「PPAやソーラーシェアリング」を 推進するためのそれぞれの具体的な設置「標やアクションを設定するべき。またにあった。 カーポート」の推進も設置目標やアクシーポート、具体的な設置目標やアクシーポート、具体的な設置目標やアクシーがある、 またその具体的な推進として、新市庁舎計とのよいの設定、財連を最大限的に、500kwのソーラーを検討して、記置でもNearyZEB市合。500kwの大規模ソーラー&NearyZEB市合においての設置でもNearyZEB市会に会は、一方ののでは、ラーとのでは、カーとのが表にでは、カーとのが表にでは、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとのには、カーとにはは、カーとにははは、カーとにはは、カーとにはは、カーとにははは、カーとにはははは、カーとにはははははははははははははははははははははははははははははははははははは	無			_	PPAやソーラーシェアリング、 ソーラーカーポートの具体的な目 標設定につきましては、今後の検 討課題とさせていただきます。 新庁舎につきましては、現在作成 済の八千代市新庁舎等建設基本設 計に基づき進めて参りたいと考え ます。	
48	パブコメ	_	本市が「2050年ゼロカーボンシティ」を本気で目指すには、繰返しとなるが、「市民・全工の主体で徹底した省エネ施策と、最大限の再準にエネルギーの導入」が必要となる。ま業編にで北本元を見せるために、本気度を示さとしての明確な目標設定をし、本気度で市としての明確なはないか。それなくし、東があるのではないか。それなくし、見直しをお願いしたい。				_	ご指摘の通り市が率先して取り組みやる気を見せることは重要と考えます。市民や事業者などに取り組んでいただけるよう市も努力して参りたいと考えます。	
49	パブコメ	_	「市民・事業者・行政あらゆる主体を巻込みながら」本気で推進するためには、伝えた省エネ施策や再エネ導入施策の反映とともに、市民・事業者・行政が連携して対策を推進するための協議会などの取組みが必要。施策と目標設定をお願いしたい。	無	_	_	_	脱炭素への取組につきましては, 市民,事業者との連携の必要性は 重要であるとの認識しております が,協働体制の構築につきまして は,先進市の事例を参考に検討し てまいりたいと考えております。	
50	パブコメ	_	庁内にゼロカーボンシティ施策を推進する専門 部署を設定して、推進体制を構築して欲しい。 そして各担当部局毎の施策と目標設定を実施し て、その推進管理を実施する事務所掌を設定 し、権限を持たせる必要があると思う。検討し て欲しい。	無	_	_	_	令和6年4月にゼロカーボンシティ 推進室を設置する予定となってお ります。 計画の推進にあたってご意見を参 考とさせていただきたいと考えま す。	
51	パブコメ	_	事務事業編策定も少なくとも審議会を経由して計画策定をするべき。事務事業編の見直しがこの期に及んで、2025年向けに行っているというのもありえない。2030年向けの計画見直しを実施して、きちんと施策と目標を設定して欲しい。	無	_	_	_	八千代市第3次環境保全計画(改訂版)(素案)に対するご意見でも(仮称)八千代市地域脱炭素ロードマップ(素案)に対するご意見でもないため、貴重なご意見として参考とさせていただきます。	

参考資料2

	区分 かい ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					
No.		計画書該当箇所(修正前計画)	意見	修正	正 計画書該当箇所(修正後計画)				備考
		該当記述	总兄	有無	頁数	該当記述(修正後)	再掲の有無及び再掲箇所	(修正無の場合はその理由)	
52	パブコメ	_	市民や事業者を巻込むために分かりやすい目標設定をするのはどうか。新川千本桜ECOライトアップを市として支援頂いているが、このようなECOイベントの実現というのは市民や事業者に対してとても分かりやすいメッセージとなる。市の3大祭りや花のお祭りやライトアップ化を目標に掲げて推進して欲しい。 一本桜祭等で実現出来ており、実現する事業者や協力事業者もいるのだから、他のイベントでも実現は来ており、実現する事業者も協力事業者もいるのだから、他のイベントでも実現できると思う。市のやる気次第。目標設定を検討して欲しい。	無		_	_	市民の意識啓発に向けた手段として有効な手段と考えられることから、今後の検討課題とさせていただきます。	
53									